

報道関係者各位

2021年11月24日（水）  
株式会社明電舎

## 海洋プラスチックごみ問題の解決に向けた取組み 沼津事業所内の自動販売機でのペットボトル飲料販売を中止します

株式会社明電舎（取締役社長：三井田 健/東京都品川区、以下明電舎）は、海洋プラスチックごみ問題の解決に向けた取組みとして、12月1日より沼津事業所内に設置している自動販売機でのペットボトル飲料の販売を中止いたします。

明電グループでは、プラスチック廃棄物による海洋汚染拡大による生態系、生活環境、漁業、観光等への悪影響が懸念されていることを背景に、プラスチック使用量やプラスチック廃棄物の削減に向けた取組みを推進しています。今回の新たな取組みにより、これまで沼津事業所内の自動販売機 60 台で販売していたペットボトル飲料を缶飲料へ切り替えることで、年間約 50 万本あったペットボトルの利用数をゼロにします。今後、他地区においてもプラスチックごみ削減のため、また資源循環への意識を高めるための取組みを進めてまいります。



ペットボトル販売中止周知・啓発ポスター



従来の自動販売機(左)と缶飲料のみの自動販売機(右)

### 中期経営計画 2024 プラスチック関連目標

分野	目標	取組み項目
製品・包装材	製品、包装材等における 3R を考慮したライフサイクル設計や循環取組みの推進	[製品] ・再生プラスチック、プラスチック代替品（材）の利用促進 [包装材] ・プラスチック包装材使用量の削減
事業所廃棄物	生産活動におけるプラスチック廃棄物の 3R 推進	・プラスチック廃棄物再生の高度化推進
その他	生物多様性保全に資する海洋プラスチックごみ問題への取組みの実施	・海洋プラスチックごみ問題に関する啓発及び社会貢献活動 ・事業所内の売店・食堂の使い捨てプラスチックの削減（自動販売機含む）

## 明電グループの取組み事例

取組み	内容
環境教育の実施	2020 年度、グループ従業員の意識改革を目的に、「海洋プラスチックごみ問題と明電グループの取組み」をテーマとした e-ラーニングを活用した環境教育の実施。
構内売店におけるレジ袋撤廃	<p>沼津および太田事業所の売店において 2020 年 7 月からレジ袋を撤廃。レジ袋に替わりエコバックを用意。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="608 506 956 1003" style="text-align: center;"> <p>2020年7月1日より、 レジ袋の配布を終了します。</p> <p>海洋生物たちが、 プラスチックごみを誤食し、 被害を受けています。</p> <p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</p> <p>明電グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援し、CUです。 レジ袋の使用廃止は、 SDGsゴール14に貢献できます。</p> <p>明電グループは、 海洋プラスチックごみ問題解決に貢献するため、 売店におけるレジ袋の配布を終了します。 エコバックの持参にご協力お願い致します</p> <p>明電興産㈱、(株)明電舎(生統本)環境戦略部</p> </div> <div data-bbox="1043 528 1385 976" style="text-align: center;"> <p>エコバッグ見本 お試し特価 110円(税込) 6月中旬より販売開始</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">レジ袋廃止周知・啓発ポスター</p> <p style="text-align: center;">販売したエコバック</p>

明電グループは、将来を見据えて循環型社会へのさらなる貢献を目指し、共創パートナーをはじめとするステークホルダーとの協働を視野に入れ、より進んだ資源循環のための取組みを検討していきます。